

子どもの国だより

Vol. 12 発行2005年4月

2005年2月～2005年3月までの活動

☀ ゆめの木教室 放課後学習支援

小学生 月曜日～金曜日 14時～18時

☀ わくわく教室 体験学習（第3土曜日 15時00分～17時）

☀ そら 中学就学年齢以上の子どもの自立支援（水曜日 18時30分～20時）

☀ ふれあい家族教室 文化庁委嘱協力事業「親子参加型日本語教室」

☀ 交流会（第3土曜日 18時～）

☀ 家庭訪問（保護者との話し合いが必要な場合、随時実施、）

☀ 子どもたちの活動月報の作成・配布（毎月各家庭に配布）

・理事会（隔月1回）

・事務局会議（毎月1回）

・スタッフ会議（第3土曜日）



3月 交流会

新しい学年になったら…

Bちゃん： 「4年生になったら、先生の話をもっと聞きたいです。」

Hくん： 「テストで百点を取れるようにがんばりたい。」

Mちゃん： 「4年生になったら、高学年としてがんばりたいです。」

Rくん： 「2年生になったら、漢字を覚えて、がんばりたいです。」

Aちゃん： 「悪い言葉を使いませーん。」

平成 16 年度のゆめの木教室を振り返って

今年度のゆめの木教室の活動を振り返ってみると、たくさんのことが思い出されます。学期始めと、夏休みに子どもと子どもの担当者として決める学習目標の話し合いでは、「私は漢字が苦手だから、この日は宿題の後に漢字をやりたい。」というように子どもたち自身が自分の苦手な所を理解し、頑張って勉強しようと思える場面が見られました。毎日の学習目標を達成した子どもには、スタッフそれぞれが持つスタンプを達成表に押していくような仕組みにした効果もあったようで、毎日スタンプをもらうために集中して取り組む姿も見られました。夏休前には、膨大な量の課題リストを前に、和室でどの宿題をいつするのかと子どもと一緒に計画しました。私はみんな本当に計画通りに終わることができるのだろうか、不安だったことを覚えています。しかし、夏休みが終わってみると、しっかりゆめの木教室に通ったほとんどの子ども達が課題を終え、そろって学校に提出することができました。夏休みも終わり、後期からはゆめの木教室のお友達が増えました。大ホールで 18 人が一緒に勉強した日もありました。スタッフの手が足りない時などは、大きい子が小さいこの勉強を見てくれたこともありました。一年を通して、一日として、ゆめの木教室が同じ雰囲気だったことはありません。覚えられなかった九九が全部スラスラ言えるようになったり、昨日けんかしたお友達と今日は笑ってじゃれあったり、ゆめの木教室は毎日が賑やかで、笑顔がいっぱいで（時には涙もありましたが・・・）子どもたちもスタッフもゆめの木で一緒に時間を過ごしながら、日々成長してきたように感じています。来年度も、子どもたちはどんな成長振りを見せてくれるのでしょうか。期待しています。



3 月 19 日 6 年生のお別れ会をしました

3 月 19 日（土）に、平成 16 年度のお別れ会を行ないました。3 月で小学校を卒業し、4 月から中学生となる現 6 年生を子どもたちと送り出しました。



子どもたちは昼間から 6 年生にふるまう料理を作り始めました。高学年の男の子が中心にカレーを作り、女の子たちがケーキのデコレーションをしました。カレーの良い匂いがしてくるころ、女の子たちはイチゴやモモなどのフルーツや生クリームを使って一人一人個性的なケーキを 30 個ちかく作り上げていました。

夕方から誕生会、お別れ会が始まりました。誕生月で 6 年生の J 君を中心にみんなでケーキとカレーを食べながら、今までの思い出を話したり、写真を撮ったりしました。カレーもケーキもとてもおいしくすぐに完売し、その後全員でなんでもバスケットをしました。いろんな質問にどきどきしつつも、白熱したイス取りをケガなく楽しくしました。その後 4 月から中学生になる 2 人に前に立ってあいさつをしてもらい、みんなで質問をしました。小学校の間で嬉しかったのは「テストでいい点をとれたこと」。嬉しかったのは「ゆめの木でプールに行ったこと・サッカーをしたこと」。中学生になったらどうす

る？という質問に照れながらも「サッカーを続ける」と言っていました。最後には小さい子達に「きちんと勉強するように！」とのお言葉もでて、スタッフから拍手が沸きました。最後にプレゼントが渡され、これまで長い間お世話になった！さんのところに2人で駆け寄っていく姿がとても印象的でした。

子どもたち、来てくださった保護者の方、スタッフも全員で楽しくこのお別れ会をすることができ本当に良かったと思います。

★ ☆卒業おめでとう☆☆

この春

ゆめの木教室では

4人の子どもが保見中学に入

学します。



16年度下半期「そら」の活動を振り返って

16年度の下半期、「そら」の活動はとても落ち着いていたように思います。11月の合宿では、それぞれの仕事に対する思いを語り合いました。12月から始めた全8回のパソコン教室では、回を重ねるごとに少しずつですが成長した姿をみせてくれました。集会所での活動においても、彼らの鋭い発言がスタッフを驚かせ、また楽しませてくれます。

しかしながら、こうした活動に問題がなかったわけではありません。それぞれが抱く不安に対応しきれていないのではないのか、では「そら」にできることはなんだろうか、そして彼らが「そら」に望んでいることはどんなことなのだろうか、などと様々な疑問を抱くにいたりしました。1月からは毎月スタッフが集まり、これまで「そら」が掲げて取り組んできた「自立支援」の方向性について話し合いを進めています。活動が落ち着いている今は、その見直しに最適な時期だともいえます。今後の方向を明確にするのは難しいのですが、子どもたちが毎週顔を見せてくれることを励みにして、新年度の活動を準備しています。

NPO法人 子どもの国

電話 090-6096-2340

ホームページ <http://www.kodomonokuni-aichi.org/>

メールアドレス kodomonokuni1999@yahoo.co.jp